

令和5年12月15日

日光市議会議長 田村耕作様

日光市議会議員 齋藤伸幸

議員派遣報告書

目的 (会議等の名称)	人口減少対策・地方創生特別研修 (人口減少に勝ち抜く戦略・人口減少と共存する方策)
会議等の 主催者の名称	地方議員研究会
場 所	名称等：リファレンス国際ビル 住 所：東京都千代田区丸の内3丁目1-1 国際ビル2F
期 間	令和5年11月16日(木)～令和5年11月17日(金)
会議等の内容	別紙資料のとおり
会議等の 所感・成果等	1日目の「人口減少に勝ち抜く戦略」では、地方創生、日本の将来人口推計、人口減少を勝ち抜く視点、シテイプロモーションとは何か等についての講義であった。この中で、「地方創生とは」については、「まち、ひと、しごと創生法」の目的等について詳細にわたり説明をうけた。この法の目的は11項目にわたっており、改めて厳しい国の現状を実感した。そのうちの1項目に、「国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成」とあり、実現にむけての早急な取

組が必要であると痛感した。その他、将来の人口の推移や、全国の都道府県別の実態、更には市町村の実情のデータも紹介され、厳しい我が国の将来が浮き彫りとなっており、不安を感じるとともに当市においても喫緊の課題であると実感した。

2日目の「人口減少と共存する方策」では、地域活性化の事例、地域ブランドとは何か、地域イメージ構築の必要性、近年の地方創生、シビックプライドとは何か、縮小均衡を目指した行政経家等の講義をうけた。ここでは特に、地方再生コンパクトシティのモデル都市（全国32都市）が紹介され、今後の実現に向けての行政の継続性も課題として挙げられた。

2日間の講義で、改めて、本市の現状を再認識することが出来た。本市にとってどんな政策が必要か、どのように市民の方と向き合っていけばいいのか自分の考えが大きく揺れ動いた2日間だった。「人口減少と共存する方策」、「人口減少に勝ち抜く戦略」に、全国の自治体が様々な施策を掲げて努力をしている。今回の講義では、多くの自治体の事例等が紹介され、これらの問題に取り組む各自治体の危機感と並々ならぬ熱意を感じることができた。人口減少に効く「特効薬」はないが、人口減少の急激な速度を抑えることは可能である。本市の地理的条件からは非常に厳しいとは感じるが、これからは、全世代の市民がもう一度原点に戻り、日光市の魅力を再認識することも必要ではないか。人口減少の流れは止めることはできないが、魅力あるまちづくりはいつでも、どの地域でも可能である。改めて積極的にまちづくりに取り組んで行きたいと考えることができた有意義な2日間の講義であった。